

2026 年 3 月 3 日

「2026 年度 外国につながる子ども向け寺子屋事業実施業務委託」応募書

川崎市長 福田 紀彦 様

所在地：川崎市川崎区桜本一丁目 8 番 2 2 号

団 体 名： 社会福祉法人 青丘社

代表者氏名： 理事長 三浦 知人

以下のとおり関係書類を添えて提出します。

添付書類	ア 企画提案書 イ 見積書 ウ 業務実施体制表 エ 提案者概要 オ 類似実績資料
------	--

2026 年度 外国につながる子ども向け寺子屋事業実施業務委託提案書

1 法人の基本理念と姿勢

青丘社は、在日コリアンの多く住む川崎南部の工場地帯に隣接する川崎区桜本地区において、差別のない、共に生きる地域づくりを長年にわたり実践してきました。

1973 年に社会福祉法人として認可され、1974 年に認可保育園としての桜本保育園を開園しました（無認可保育園としては 1969 年から）。また、1988 年に開設された川崎市ふれあい館の管理運営を今日まで行っています。

地域の新しい生活課題をみつけ、対応をしていくなかで、保育、児童館、社会教育、高齢者福祉、障がい者福祉など、生活者の立場に立った事業実践が広がっていきました。

青丘社は、「誰もが力いっぱい生きるために」をキーワードに乳幼児から高齢者まで地域の生活者の視点から地域包括ケアを進めています。とりわけ、外国人住民が安心して生活できるよう、多文化事業に力をいれています。

2 取組の趣旨、目的について

近年、外国人住民の増加に伴い、外国につながる子、とりわけ日本語のサポートが必要な子どもたちも増加しています。とりわけ、川崎の南部、川崎区においてはその傾向が顕著にみられ、特に、コロナ禍の規制等が緩和された 2023 年以降は子どもの来日ラッシュが続いています。

外国につながる子の教育環境の整備は全国的に喫緊の課題となっていますが、川崎においては小中学校における国際教室の設置や巡回による日本語指導体制づくり、市立川崎高校における在日外国人等特別募集が開始されるなど、徐々にすすんできました。

しかし、外国につながる子どもたちの増加にはまだまだ追いついていません。そのため、学校外における学習サポートのニーズがあり、2024 年度、2025 年度と続けて各教室で過去最高の入室者数を記録しています。

また、外国につながる子と日本人の子どもの交流、共生も進んできましたが、とりわけ、日本語が十分にできない子どもたちは多くのストレスを抱えやすく、同じ国、地域、ルーツをもつ友だちと出会え、交流できる居場所を必要としています。

さらに、外国人住民と日本人住民との交流する機会はまだまだ限られており、本事業のような取り組みにおいて、地域の日本人住民がサポーターとして参加することにより、地域での日本人と外国人住民とのつながりが生まれ、地域包括ケアの推進につながります。

こうしたことから、外国につながる子どもたちの学習をサポートし、居場所をつくることは、地域住民とのつながりをつくるうえでもとても大切な事業であると考えています。

3 事業内容について

(1) 実施回数

教育文化会館教室、ふれあいプラザかわさき教室ともに、年末年始などを除く、毎週水曜日に教室を開設します。年間 45 回程度を実施します。

(2) 内容について

① 学習について

学校の宿題を基本としながら、子どもたちが日本語の語彙を習得しながら学校での学習についていけるように工夫をこらしてサポートします。また、来日間もない子どもの入室も増えているため、初期段階の日本語支援にも力を入れます。

② 体験行事

年に 1～2 回程度、普段の学習とは異なる体験活動を実施し、日常生活ではなかなかできないような体験活動を企画します。具体的には、2 教室合同での交流行事を通じて、いつもとは違う関わりを持ちながらグループ活動を通して出身やルーツ、言語を超えた交流が生まれるようサポートします。また、様々な表現活動の機会などを持ち、自由に自己表現をすることや、発表を通じて自己肯定感を育みます。

③ 居場所づくり

とりわけ日本にきたばかりの外国につながる子ども達は慣れない生活の中でストレスを抱えやすいですが、学校の中では安心して一緒にいられる出身やルーツ、言語の同じ友達が多くはいないため、安心して過ごせる居場所づくりが難しいこともあります。

そのため、教室では子どもたち自身がストレスを軽減でき、安心して過ごせる居場所づくりを大切にします。学習に向かない子どもたちの気持ちにも寄り添い、遊びやゲームなど様々なツールを活用してコミュニケーションをとりながら成長を見守ります。また、子どもたちとともに学習以外の活動内容を考えて実践することで、主体性や自己決定力を育みます。

④ 家庭支援

外国人保護者に対し、ふれあい館で行っている識字学級、多言語情報サービス、桜本の地域住民が取り組んでいる桜本フードパントリーなどの案内、必要に応じて食糧支援をします。

4 実施体制について

① 統括責任者

長年にわたり外国人支援や多文化事業、こどもの居場所づくりに取り組んだ経験のある社会福祉法人青丘社の常勤職員を統括責任者として配置します。

② 現場責任者

教育文化会館教室、ふれあいプラザかわさき教室ともに、現在、現場責任者を担っている者が来年度も継続します。そのため、経験もあり、安定した運営ができます。

③ サポーターの配置について

1Hあたり教育文化会館教室、ふれあいプラザかわさき教室にそれぞれ6人程度を配置する予定です。

主に地域の外国人住民や若者で学習支援の経験がある者、多言語ができ、外国につながる子どもとの関わりの経験がある者など、現在も活動に参加しているサポーターが継続します。その他、大学との連携による学生サポーターも必要に応じて募集し、安定した事業運営ができるよう、サポーターの確保に努めます。

5 類似事業の実績

(1) 川崎市学習支援・居場所づくり事業

ひとり親・生活保護世帯の小学生、中学生の学習支援を実施。川崎区内で2か所の教室を運営しています。外国につながる子どもたちも多く参加しています。

(2) 川崎市立川崎高等学校定時制生徒自立支援業務（ぼちっとカフェの運営）

市立川崎高校定時制のなかで、カフェ形式での高校生の居場所づくりを行いながら、相談対応や自立支援をサポートする事業を実施。カフェの利用者には多くの外国につながる生徒がいます。

(3) 外国につながる小中学生学習支援事業

川崎区内で外国につながる小学生、中学生の学習サポート事業を実施しています。

2026 年 3 月 3 日

お見積書

川崎市長 福田紀彦様

川崎市川崎区桜本一丁目8番22号

社会福祉法人 青丘社

理事長 三浦 知人

- 1 事業名 外国につながる子ども向け寺子屋事業実施業務委託
- 2 実施場所 川崎区(教育文化会館、ふれあいプラザかわさき)
- 3 実施時期 2026年4月1日～2027年3月31日
- 4 事業費 2,200,000 円

お見積額 2,200,000 円(税込み)

経費項目	金額	内訳
①賃金	675,000	コーディネーター(時給1,500円×5時間×45回×2人)
①謝金	1,080,000	サポーター(2000円(1回)×12人(教文6人・日進町6人)×45回)
①報償費	30,000	外部講師(7,500円×4時間)
②交通費	90,000	コーディネーター交通費(1,000円×45回×2人)
③消耗品費	66,000	2,750円/月×12ヶ月×2か所
④通信運搬費	48,000	2,000円/月×12ヶ月×2か所
⑤印刷製本費	11,000	コピー代など
小計	2,000,000	
消費税(10%)	200,000	
合計	2,200,000	

2026 年度 外国につながる子ども向け寺子屋事業（川崎区）

体制表

統括責任者 ■■■■■

事業担当者 ■■■■■

●教育文化会館教室

現場責任者：■■■■■

サポーター：6 名程度

●ふれあいプラザかわさき

現場責任者：■■■■■

サポーター：6 名程度

社会福祉法人青丘社
地域社会貢献・新規活動拠点整備事業
募金のお願い

社会福祉法人青丘社

理事長 三浦知人 後援会会長 関田寛雄

多様な人々が暮らす街で、人がつながりあい、共生の歩みの中で分断と亀裂を乗り越える作業が積み重ねられてきました。人々の抱える課題は多様で重層化しています。差別に抗って生きてきた街の歴史を踏まえ、今、地域のすべての人たちが支えあいの当事者として確実に歩み始めています。その要の位置に、高齢者、障がい者の地域参加活動があります。共生の街さくらもとの地域での取り組みを発信し、つながりを広げて、だれもが力いっぱい生きる社会にむけて、役割を果たしていきたいと思ひます。皆さんのおかげで、ふれあい館、保育園と続き、高齢者・障がい者の共生の活動拠点が整備されました。これまでより増して市民参加、協働のネットワークを強化し、みなさん一人一人に支えられた実践基盤の構築にご協力をお願いいたします。

募金・寄付プラン

- ①サポートネットワーク会員 (2000円/年)
- ②マンスリーサポート会員 (500円/月)
- ③みんなの家建設サポーター (10000円/一口)
- ④その他

①②③の寄付者は、青丘社後援会登録をさせていただきます。

送金方法

- ◆銀行振込 (上記①③④)
川崎信用金庫 大島支店・普通
口座番号 0884943
名義 社会福祉法人青丘社後援会
事務局長 南宮成根 (ナムゴン ソンゴン)
- ◆郵便振替 (上記①③④)
番号 横浜 00280-8-9282
名義 社会福祉法人 青丘社
- ◆インターネット (上記①~④)
URL: <http://www.seikyu-sha.com/minna/>

青丘社 みんなの家

以下のクレジットカードが使えます



寄付控除が受けられます。

社会福祉法人への寄付金による税法上の寄付金控除がうけられます。お申し出ください。詳しくは、事務取扱

TEL044 (288) 2997

青丘社の歩み

- 1969 4 在日大韓基督教川崎教会付属桜本保育園開設
- 1973 10 社会福祉法人青丘社設立認可
- 1974 4 桜本保育園認可保育園開園
- 8 池上町地域子ども会事業
- 1975 4 桜本学園(小1~高3)開設
- 1976 4 学童保育ロバの会 川崎市委託事業開始
- 1982 9 活動保障を求める要望書を川崎市に提出
- 1988 6 ふれあい館オープン
- 1991 11 障がい児父母の会「おおひん虹の会」発足
学齢児、青年活動開始
- 11 おおひん地区街づくり協議会発足
- 1996 1 第2ふれあい館(生活支援センターとイベントホール機能)の設立要望書を川崎市に提出
- 7 桜本幼稚園園舎を借り、夏休み臨時生活クラブ「虹の家」開設
- 1997 4 高齢者・障がい者生活支援プロジェクト開始
- 1998 1 在日高齢者交流クラブ「トラジの会」設立
- 4 川崎市立学校民族文化ふれあい事業開始協力
- 1999 6 「在日の高齢者の豊かな老いのときを！」提案書川崎市に提出
- 10 在日コリアン高齢者生活相談窓口設置
- 2000 2 ホームヘルパー養成研修 市委託実施
- 4 ふれあい高齢者相談事業 市委託開始
- 2001 4 ふれあい高齢者交流事業 市委託開始
- 5 ふれあい館隣に虹の会がアパート借り入れ、トワイライト、ナイトサービス、宿泊の試み
- 10 おおひん地区まちなか高齢者交流センター開所
おおひん地区まちなかほっとライン開設
居宅介護支援事業、訪問介護事業開始
- 2002 4 障がい者ヘルパー派遣事業委託開始
- 2003 4 グループホーム「虹のホーム」開始
- 障がい者居宅支援事業スタート(支援費)わくわくプラザ 4校委託スタート
- 10 青丘社創立30周年記念研修会
- 2004 2 高齢者ディサービス開始
- 生活サポートネットワークほっとライン 開設
- 4 外国につながる中学生学習サポート 設立
- 5 障がい者と市民の協働の場「スペースほっと&ほっとカフェ」オープン
- 2005 4 グループホーム「第二虹のホーム」開設
- 2006 4 障がい児中・高校生タイムケア事業市委託実施
- ふれあい館 事業委託から指定管理に
- 10 障がい児・者 相談支援事業開始
- 12 川崎区通訳及び翻訳バンク事業を区より受託
- 2008 4 障がい児ファミリーサポート事業を市より受託
- 外国につながる中学生学習サポートに改編
- 10 地域子育て支援事業(児童館型)を市より受託
- 2009 4 スペースほっと&ほっとカフェを地域活動センターD型として拡充
- 8 ほっとライン浜町 日中一時支援事業開始
- 11 ほっとライン浜町 高齢者ディサービス開所
- 2010 1 学習サポート教室かわさき設置(文科省補助)
- 4 青丘社多文化プロジェクト事業開始
- 9 多文化共生センターかわさき 開所
- 2012 4 新 桜本保育園 開設
- 6 虹のホーム移転して開始
- 6 多文化共生センターかわさきを地域活動センターD型として運営
ほっとカフェテリア運営
- 9 商店街に障がい児・余暇支援センター開所
- 浜町閉鎖 放課後支援を拡充 「ちえりー」開設
- 10 ほっとライン浜町ディを桜本に移転。認知症対応型デイに変更実施
- 12 パン工房「アングダンテ」本格オープン
- 2013 4 川崎市学習支援・居場所づくり事業受託実施
- 12 「ちえりー」を放課後等ディサービス事業として移行開始
- 2014 10 川崎高校定時制学習支援「ほっとカフェ」開始
- 2 第1回桜本フェス 開催
- 2015 4 小規模保育事業さくらっこ保育園 開園
- 10 地域活動支援センター「マナ」開設
- 2016 8 桜本こども食堂 Open
- 2018 4 宮前小学校寺子屋事業 教文教室受託開設(学習サポート)
- 川崎市学習支援・居場所づくり事業京町教室受託実施
- 2019 4 外国人につながる子どもの学習サポート川崎区との協働事業
- 5 地域活動支援センターパン工房 桜本に移転
- 6 ほっとカフェ(喫茶)建物老朽化で閉店
- 9 障がい者グループホーム「虹のホーム第3」開所
- 2020 7 コロナ禍で第1回桜本フードパントリー開催
- 2021 9 地域活動支援センター(川崎市委託)開始
- 2022 7 放課後等ディサービス中止 日中一時支援そら 拡充

社会福祉法人 青丘社

だれもが力いっぱい生きるために



在日高齢者のウリマダン主催交流屋台村開催
朝鮮学校オモニ会、朝鮮学校市民給食ボランティア トングラムも出店

地域の高齢者の出合いを深める
「歌を歌おう」礼拝堂にて

コロナ禍で、弁当型で継続される
桜本子ども食堂・フードパントリー

トラジ合唱団ディサービス交流

新しい活動拠点「みんなの家」が始動し、交流事業を少しずつ推進しています。「助けて」っていいやすい居場所、「私でよければ手伝うよ」という市民が、みんなの家で出会えたら素敵です。

ふれあい館、保育園を含め、市民活動と連携を深めます。

多文化共生保育研究会・川崎朝鮮学校市民給食トングラム・川崎在日コリアン生活・文化・歴史研究会

社会福祉法人 青丘社

〒210-0833 川崎市川崎区桜本1-8-22 TEL044 (288) 2997

<http://www.seikyu-sha.com>

桜本保育園 sakuramoto-hoikuen@seikyu-sha.com

ふれあい館 fureaikan@seikyu-sha.com

ほっとライン hotline@seikyu-sha.com

共生のまち・さくらもとの生活課題

しなやかな子育て支援の充実

- ◇桜本保育園・さくらっこ保育園
- ◇子育て支援センター(ふれあい館)
- ◇こども文化センター・わくわくプラザ事業



ふれあい館
キッズスペース「ヨガ」

学びの保障、文化学習、人権学習



識字学級

高齢者・障がいのある人々が、地域活動の主人公

- ◇いつまでも、この地で！
それを支える訪問介護・高齢者ディサービス事業

- ◇商店街で活躍する「共生のまちのメッセンジャー」
弁当工房・パン工房



パン工房

- ◇地域をつなぐ「みんなの家」の活動を担う。
地域活動支援センター マナ



子ども食堂お弁当型

みなさまに支えられ、育てられて50年。
求められる役割が広がっています。

社会福祉法人青丘社

小さな地域を大切にし、町内会・商店街とつながり、育てられて、共生のまち・さくらもとのまちづくりの仲間に加えていただきました。

生活の匂いを共有する小さな地域を大切にしながらも、新しく国境を越えて暮らす市民と出会い、求められる活動領域が広がってきました。問題意識をもつ支援者とのつながりも広がり、川崎南部地域での多文化共生・貧困と孤立の生活課題に一定の役割を果たすことが求められてきています。



石日合

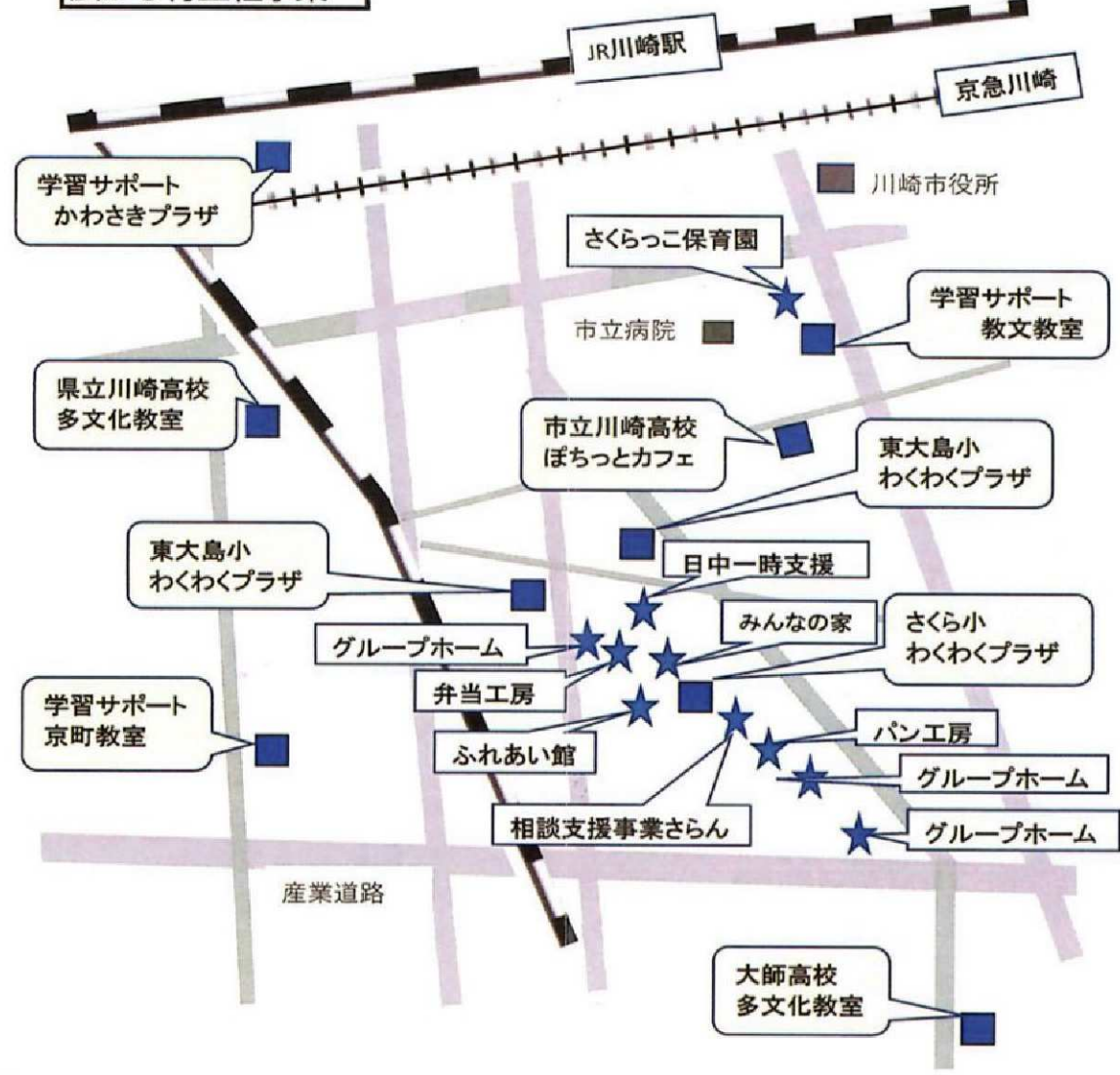


菅今蘭



趙良業

広がる青丘社事業



居場所と暮らしづくり

- ◇広がるグループホーム
- ◇障がい児・者の多様な居場所づくり
- ◇在日高齢者の交流・発信・学び ウリマダン・トラチの会



いっしょにキムチをつけました

総合相談の機能の充実

旧来のケアマネ ふれあい館相談活動に加え、昨年からは地域相談支援センターの委託を受け、重層的な困難に直面する人たちにワンストップの総合相談が行える体制が進みました。



活動領域を広げ、多文化施策にお手伝い

- ◇翻訳通訳バンク事業
- ◇学校民族文化講師派遣事業
- ◇外国につながる子どもたちの学習支援事業
- ◇学習サポート事業
- ◇ぼちっとカフェ



ふれあい館学習サポート

<社会福祉法人青丘社 外国につながる子どもの学習サポート事業一覧>

(2026.1.22現在)

	事業名	協働事業 (予算枠)	会場	実施日	対象	入室者数(ルーツ) ※年度途中退室含む
小学生	教育文化会館教室 (教文 寺子屋教室)	教育委員会【委託】 「外国につながる子ども向け寺子屋事業」	教育文化会館	毎週水曜日 15時～17時	川崎区在住で 概ね来日6年 以内の小学生 (学区に基づいて 在籍)	27名 (中国、フィリピン、タイ、 ミャンマー、バングラデシュ、インド、 韓国／うち2名日本国籍)
	ふれあいプラザ かわさき教室 (日進町 寺子屋教室)	教育委員会【委託】 「外国につながる子ども向け寺子屋事業」	ふれあいプラザ・かわさき	毎週水曜日 15時～17時		19名 (中国、フィリピン)
	外国につながる 小中学生学習支援 事業	【協働】川崎区役所 地域みまもり支援 センター	ふれあい館	毎週土曜日 10時～12時		45名 (中国、フィリピン、ブラジル、 ペルー、ボリビア、スリランカ、 ベトナム、インドネシア、タイ、ネパール 内モンゴル／うち4名日本国籍)
中学生			ふれあい館	毎週水曜日 19時～21時 &毎週土曜日 13時～15時	川崎区内在住で 概ね来日6年 以内の中学生	33名 (中国、ネパール、スリランカ、 ペルー、ベトナム、内モンゴル、 バングラデシュ／うち5名日本国籍)
学齢超過	多文化フリースクール	(青丘社 社会貢献事業)	青丘社「みんなの家」	毎週 火・木・金曜日 10時～15時	母国で9か年の 教育課程を 修了した者	9名 (フィリピン、中国、 ペルー、ネパール)
高校生	多文化教育 コーディネーター	派遣高校 ・県立川崎高校 ・県立大師高校 (神奈川県)	各高校	・毎週1回、2時間 日本語補習 ・先輩交流会等 企画	・在県特別募集 高校(川崎区)	
高校生 ・若者	外国につながる高校生・ 若者キャリア支援事業 ・高校出前相談会(4回) ・キャリア支援相談会 (1回)	【協働】川崎区役所 地域みまもり支援 センター	川崎市教育文化会館 区役所 県立川崎高校等(貸室)	・高校出前相談会 ・キャリア相談会 (各回とも調整中)	川崎区を中心とした 外国につながる 高校生・若者& 外国ルーツ若者 支援につながりたい人	・外国につながる高校生・若者キャリア相談会 53名 ・高校出前相談 ①6月25日 県立大師高校 29名 ②7月7日 県立川崎高校全日制 31名 ③12月9日 市立川崎高校定時制 38名 ④1月7日 県立川崎高校定時制 29名 ⑤県立鶴見総合高校 50名